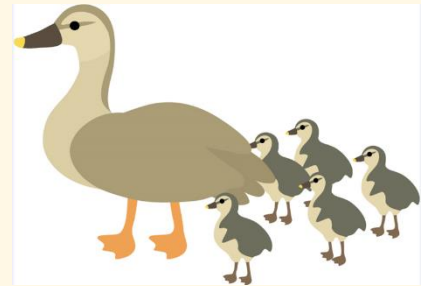


カモの水稲被害にご注意ください！

もうすぐ種蒔き、そして田植えの時期がやってきますね。例年、カモによる水稲被害が報告されています。カモは水が張られた水田に泳ぎに飛来します。下記にカモの生態をまとめましたので、対策にお役立てください！



Q 1. カモは苗を食べるの？

A 1. 苗は食べません。ただし、栄養が残っているモミ等は食べるため、直播から1週間～10日程度は栄養が残っており、それを食べることはあります。しかし、一番多い被害では、水田を泳ぐ時や、飛び立つ際に苗が抜けてしまうことによるものが多いようです。

Q 2. 田植え時期が早いと被害に遭いやすいか？

A 2. はい。カモは水が張られていると泳ぎにやってきます。早い時期の田植えなどで水をはっている水田が少ないと、やはり被害に遭いやすいです。また、大規模農家などで田植えが遅い場合も同様に、そのリスクは高くなりやすいです。個人農家さんの場合は、近隣の田植えの状況をみながら、出来るだけ同時期に植えるようにしましょう。

Q 3. 田の浅水管理は有効ですか？ほかに有効なカモ対策は？

A 3. 浅水管理は、カモ対策としても一定の効果はあると考えられます。泳げる水がなければ、カモが飛来する可能性が低くなります。また、浅水管理することでスクミリングガイ（ジャンボタニシ）の対策にも有効なため、両面での効果が期待されます。ただし、田が干上がってしまわないように十分な注意が必要です。

その他のカモ対策としては、近隣の水田では、『カモよけ』（先端に白いビニール袋をつけた棒）の設置された水田を見かけることがあります。必ずしも万全の対策とは言えませんが、一定の効果はあるようですので、カモ被害が気になる方は取り組んでみてはいかがでしょうか。

明和町産業振興課

